

## 令和2年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和3年3月24日（水）午後2時～午後4時15分
- 2 開催場所 美浜公民館 第3会議室
- 3 出席者  
(委員)  
藤田委員長、松木副委員長、山崎委員、大澤委員、田中委員、湊野委員、工藤委員、室井委員、木内委員  
(事務局)  
教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、市民スポーツ課長、中央図書館長、高洲公民館長、生涯学習課長補佐、生涯学習係
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
  - (1) 報告事項
    - 1) 行事の開催報告について
      - ①令和2年度浦安市青少年自立支援未来塾開催報告
      - ②第30回東京ベイ浦安シティマラソン（オンライン）開催報告
      - ③令和2年度第3回図書館協議会開催報告
      - ④令和2年度第3回公民館運営審議会開催報告
      - ⑤令和2年度第4回公民館運営審議会開催報告
      - ⑥令和2年度第5回公民館運営審議会開催報告
  - (2) 協議事項
    - 1) 提言書について
    - 2) 参考資料
      - ①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う社会教育に関するアンケート調査結果 社会教育施設
      - ②新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う社会教育に関するアンケート調査結果 社会教育関係団体
  - (3) その他
    - 1) 生涯学習推進計画の進行管理について
    - 2) 次回の会議日程について

次回の会議日程

令和3年度第1回定例社会教育委員会議

令和3年4月22日（木）午後2時からを予定。

## 6 議事概要及び会議経過

### (1) 報告事項

#### 1) 事業の開催報告・案内について

事業の概要について①～⑥は資料をもって説明とした。委員からの主な意見・質問などは以下の通り。

#### ① 令和2年度浦安市青少年自立支援未来塾開催報告

(委員長) 委員の中にも学習支援員を行っている方もいるし、明海大学の学生さんに多大なる協力を得ることができた。

(委員) 満足度が高くて評判がよいので、ぜひ今後とも継続してほしい。未来塾はいつできたのか、はじまったきっかけは何か。

(事務局) 国や県の地域学校協働活動推進事業を受けて、平成27年度から、中学生の放課後の学習支援として始まったものである。現在は全中学校で取り組んでいるが、当初は2校であった。当初から数学教室を実施し、昨年度から英語教室も始めたところである。対象学年は当初中学3年生のみであったが、昨年度から全学年とした。学校の希望により、中学3年生だけを対象とした地区もある。

(委員) 始まったきっかけは理解できた。運営については、各自治体の独自性を出せるようなので、今後も浦安らしさを出して推進していただきたい。社会教育そのものの実践だと思う。学校でも家庭でもない、地域の方々が子どもたちの育成を支援する素晴らしい活動である。

(委員) 今年で学習支援員4年目で、これまで、いろいろな生徒さんがいた。中には学校へ行っても教室に入れないという生徒さんもいて、まさに第3の居場所として成り立っていると感じた。

(委員長) 学校が休みなのに、明海大学の学生さんたちは非常によくやっていただけた。

(委員) 今までには数学教室だけだったので、経済学部の学生に募集をしていたが、昨年度から英語教室も始まったの

で、外国語学部の学生の参加できる場が増えたのでありがたい。学生も喜んで参加している。要望としては、数学に比べて英語の回数が少ないので、増やしていただければ、と思う。

(事務局) 英語が5回で回数が少ないと考え、次年度は数学と同じく通年での開催とし、それぞれ19回の講座を計画している。

(委員) 浦安中学校が中央公民館をお借りして、放課後に生徒たちに教えたのが最初。県立高校、数学の入試問題の最初の5問が計算問題で、それだけでも点数をとれるよう勉強を教えたのがスタート。浦安中学校に若干遅れて、堀江中学校でも堀江公民館を利用した、同じ取り組みを開始した。その後、文部科学省から話があったので、地域の力をお借りし、公民館を活用した「未来塾」として行ってきた経緯がある。それがこれまで広がり、英語まで開始して、浦安の子どもたちは恵まれていると感じている。ありがたいことである。

あと、目的のところ、「学習の遅れがちな」との文言があるが、「学習に困っている」とか、文面に工夫があるとよいと思う。また現場としては、見明川中学は3年生しかやっていないが、場合によっては1～2年生の参加もありかと思う。

(委員) テキストを用意していただいたことは大変ありがたい。最初はテキストもなく、プリントを印刷して教材を用意していた。

(委員) 民間の学習塾との兼ね合い、関係はどうか。

(委員長) 自分は水曜日を担当したが、塾のない日に来ている、とか、未来塾終わってから塾へ行くという生徒さんもいた。地域によって異なるだろうが、学びたい子が来ればよいと思っている。

## ②第30回東京ベイ浦安シティマラソン（オンライン）開催報告

(委員長) 30代、40代の参加者が多く、意欲が高いのだと感じた。オンラインで行うという、非常によいアイデアである。浦安市民の参加者が48%、女性の参加者が少ないと感じるが、どう評価しているのか。

(事務局) はじめでの試みなので単純に比較はできないが、これまでのハーフマラソンでも、浦安市民の割合は50%弱なので、偶然とはいえ、ほぼ同じ数となった。女性の参加率を上げていく工夫は必要と考えている。

③令和2年度第3回図書館協議会開催報告

(委員長) 電子書籍、電子図書についての今後の取り扱い、市民のニーズはどうか。

(事務局) 資料の電子化については、実施計画に上げてあり、東日本大震災のアーカイブなど進めている事業がある。まずは地域資料の電子化を進め、市販の電子書籍については市民要望もあることから、今後考えていきたい。しかし制度的な問題もあり、今すぐに図書館で扱うには難しい点もある。

④令和2年度第3回公民館運営審議会開催報告

⑤令和2年度第4回公民館運営審議会開催報告

⑥令和2年度第5回公民館運営審議会開催報告

(委員) 13ページにある「バギーガーデン」とは何か。

(事務局) 当代島公民館の主催事業で、芝生広場で庭作業をする事業である。

(委員長) 25ページにある無断キャンセルについて。たびたび議論が出ているようで、キャンセル待ちをしている市民のためにも、申し込みとともに参加費を払ってもらうなど、検討をしていただければと思う。

(2) 協議事項

1) 提言書について

(委員長) 提言書の内容検討の前に、アンケート結果について事務局に説明をお願いしたい。

事務局より資料47～59ページのアンケート結果について説明した。

(委員長) 続いて、33～46ページの提言案について説明したい。今後の予定であるが、次回4月22日(木)の次年度第1回定例会で最終稿を検討していただき、6月17日(木)の第2回定例会で提出する予定である。

委員長より資料33～46ページの提言案について説明があった。

委員からの主な意見・質問などは以下の通り。

(委員) 33ページ、「1. 提言テーマ設定の理由」の3行目、「幸いにも2月中旬には」とあるが、「本年2月中旬」とした方が丁寧になると思う。

(委員長) 文化施設などで、コロナの影響が大きいようだが、まだ文面では書ききれていない。

(委員) 先日、浦安出身の若手音楽家による「ピュアコンサート」に参加した。オンラインが流行りではあるが、生のライブなどは感動の質が違う。オンラインは補完であって、やはりリアルな体験が重要と思う。

最後のまとめ、45ページにある「大切にしたい直接的な学び」、ここが一番大事なところ。「少しでもよいので、工夫をして実践していきましょう」という点を、全般通して訴えるのがよい。

(副委員長) 当初は施設やその駐車場までも休止してしまったので、皆、家へ閉じこもった生活となった。すべてやめてしまうのは簡単だが、何か使える部分は使えるぞ、と実行していく必要がある。高齢者は家に閉じこもってしまうと、認知症になってしまうのでは、と心配している。

(委員) 世の中、すべてが引きこもり状態である。その中で、浦安市が成人式を実施したのは画期的である。賛否両論あったと思うが、よくぞ決断したと思う。

(委員長) 4回に分けて実施したので、受付が大変だったようだった。

キャストの人たちがお祝いしてくれるといった、よい雰囲気  
で、浦安ならではの成人式であった。オリエンタルランド社  
にも感謝したい。

(委員) 限られた中でも、最大限の努力をして、社会教育を推進する  
との方針には賛成である。20年くらい前であるが、国がIT  
講習を推進した時期があった。パソコンも揃っていない頃で、  
住民の方からは反発もあった。

コロナを経験して、高齢者が外に出ることができないとき  
などに、改めてオンラインとかITを活用できる時代になっ  
たのだなあ、と感じた。実際の現場での社会教育との両面で、  
進めていかなければ、と思う。

IT講習などでは、自治体が主催しながらも、地元の詳しい  
方が講師になるなど、広がりを持たせたい。

(委員) アンケート結果が素晴らしいと思った。それをもとに委員長  
にまとめていただき感謝している。アンケートをみても、生涯  
学習の担い手の高齢化がわかる。こうした高齢者の方々が  
情報を得ることができない現状がある。44ページの「(2)  
ICTを活用した新しいつながりと学びの創出」の③の最後  
の「特に高齢者への手厚い支援は時代の要請であるとともに、  
社会教育の責務である」とあるが、ここを強調して④として  
独立させてもよいのではないか。

(委員) アンケートを踏まえて、委員長の思いがこもった文章となっ  
ている。その中で35ページの「3. 生涯学習施設の存在意  
義」の部分が、文字数も少なく、やや弱い感じがした。また、  
文章体で書いた方が読む側としてストレートに入ってくる  
と思う。

(委員) 委員長の考えでは、「人とつながる」と、「個人を高める  
こと」の両方の視点があると感じた。たとえば42ページの  
「(3) 図書館運営」への意見でも、①・②のITや電子図  
書などのほかにも、委員長の思いがあるのでは、と思う。た  
とえば③として知的好奇心を満たすための事業を推進する、  
など、施設運営の面でも、遠慮なく書かれてもよいのでは  
ないか。

(委員) コロナ禍の中で、オンラインの活用の可能性を検討している。  
学校に来ることのできない生徒へのフォローなどにも利用  
できることがわかってきた。ICTの活用は、グローバル化で、

直接交流できない方々ともつながることのできる強みがある。危険性は伴うが、若い人たちは自分自身のことを発信する手段として活用している。高齢者でも活用できると思う。

(委員) 41ページの「(1) 市の生涯学習事業全般への意見」の部分で、文化施設への意見がないので、入れた方がよいと思う。

(委員) 33～34ページの「テーマ設定の理由」部分であるが、まず34ページの後半部分の結論を、最初に持ってくると思力が出てくると思う。論調自体は過激だが、これを修正しないで提出するのが、市民代表の提言書としてはよいと思う。

(委員長) 皆さんの意見をまとめ、たたき台を修正していきたい。文章案が間違っている部分など、随時指摘をいただきたい。

### (3) その他

#### 1) 生涯学習推進計画の進行管理について

事務局より当日配布資料、「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画 進行管理案」について説明し、令和3年度以降の点検評価についての考えを伝えた。

#### 2) 次回の会議日程について事務局より説明。

令和3年度第1回定例社会教育委員会会議  
令和3年4月22日(木) 午後2時00分から  
浦安市中央図書館 視聴覚室

以上